

履修の手引

令和 6 年度

2024



人とともに 地域とともに

島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

総合理工学部

学生番号：

氏名：

総合理工学部における地域人材育成コースに関する取扱要項

(平成28年2月24日 制定)

[令和6年2月21日 最終改正]

(趣旨)

第1条 この要項は、地域人材育成コースに関する取扱要項(平成26年12月25日学長決裁。以下「取扱要項」という。)第7条の規定に基づき、総合理工学部における地域人材育成コースの教育プログラム等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(育成する人材像)

第2条 地域人材育成コースは、基礎から応用、理学から工学の幅広い専門知識・技術により地域の活性化に寄与する人材を育成する。

(教育プログラム)

第3条 開設する教育プログラムは、次の各号に掲げる地域関連科目及び地域人材育成コースセミナーよりなる。

- 一 ベースストーン科目 (以下第4条において「BS科目」という。)
- 二 キャップストーン科目 (以下第4条において「CS科目」という。)
- 三 地域貢献インターンシップ
- 四 地域人材育成コースセミナー

(履修資格及び修了要件等)

第4条 前条の教育プログラムの履修資格、構成する授業科目 (BS科目、CS科目、地域貢献インターンシップ) 及び履修方法並びに修了要件については、別紙に定めるところによる。

(事務)

第5条 地域人材育成コースに関する事務は、松江地区学部等事務部学務課において処理する。

(雑則)

第6条 この要項に定めるもののほか、地域人材育成コースに関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則 (平成29年2月22日 一部改正)

- 1 この要項は、平成29年4月1日から実施する。
- 2 平成28年度の入学生及び当該入学生と同学年に編入学、転入学又は再入学する者については、この規則による改正後の島根大学総合理工学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成30年2月28日 一部改正)

- 1 この要項は、平成30年4月1日から実施する。
- 2 平成29年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学、転入学又は再入学する者については、この規則による改正後の島根大学総合理工学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項(「以下「改正後の要項」という。)」の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の要項第5条については、平成28年度入学生から適用する。

附 則 (平成31年2月20日 一部改正)

- 1 この要項は、平成31年4月1日から実施する。

- 2 平成30年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者については，この規則による改正後の島根大学総合理工学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項（「以下「改正後の要項」という。」の規定にかかわらず，なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず，改正後の要項第5条については，平成28年度入学生から適用する。

附 則（令和2年2月19日 一部改正）

- 1 この要項は令和2年4月1日から実施する。
- 2 令和元年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者については，この規則による改正後の島根大学総合理工学部におけるCOC人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和2年12月23日 一部改正）

この要項は令和3年1月1日から実施する。

附 則（令和3年3月17日 一部改正）

- 1 この要項は令和3年4月1日から実施する。
- 2 令和2年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者については，この規則による改正後の総合理工学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和4年3月22日 一部改正）

- 1 この要項は令和4年4月1日から実施する。
- 2 令和3年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者については，この規則による改正後の総合理工学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず，なお従前の例による。ただし，別紙 建築デザイン学科のキャップストーン科目表にある 建築構造・環境フィールドワーク については，建築デザイン学科の令和2年度及び令和3年度入学生（当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者も含む。）にあっても適用する。

附 則（令和5年2月22日 一部改正）

- 1 この要項は令和5年4月1日から実施する。
- 2 令和4年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者については，この規則による改正後の総合理工学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず，なお従前の例による。ただし，各学科の別紙の履修表中，キャップストーン科目表にある「地域プロジェクト型実習」については，令和4年度入学生（当該入学生と同学年に編入学，転入学，又は再入学するものも含む。）にあっても適用する。別紙 物質化学科，地球科学科，機械・電気電子工学科，建築デザイン学科の地域貢献インターンシップ表にある理工学PBL実習A，理工学PBL実習Bについては，物質化学科，地球科学科，機械・電気電子工学科，建築デザイン学科の令和4年度以前入学生（当該入学生と同学年に編入学，転入学，又は再入学するものも含む。）にあっても適用する。

附 則（令和6年2月21日 一部改正）

- 1 この要項は令和6年4月1日から実施する。
- 2 令和5年度以前の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者については，この規則による改正後の総合理工学部における地域人材育成コースに関する取扱要項の規定にかかわらず，なお従前の例による。

別紙

物理工学科

教育プログラム（10単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|-------------|------------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 入門科目／学際分野 | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 以上 |
| | 発展科目／学際分野 | 島根学 | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | |
| | 社会人力養成科目 | 島根の企業と経済 | 2 | | |
| 専門教育科目 | フレッシュマンセミナー | 2 | | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

※ イノベーション創成基礎セミナーⅠ，イノベーション創成基礎セミナーⅡの履修を推奨する。

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-------------|-----|-----|----|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | 2 | / |
| | 専門教育科目 | 物理学実験Ⅱ | 4 | / | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 2 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| | | 地域共創インターンシップC | 4 | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件

- 次の要件をすべて満たすこと。
- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
 - 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から2単位、キャップストーン科目から2単位及び地域貢献インターンシップから2単位を含む合計10単位以上を修得すること。

別紙

物質化学科

教育プログラム（9単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|-------------|-------------|------------------|-----|----|---------|
| 入門科目／学際分野 | | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 以上 |
| | 発展科目／自然科学分野 | 汽水域の科学（入門編） | 2 | | |
| 汽水域の科学（応用編） | | 2 | | | |
| 発展科目／学際分野 | | 島根学 | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | |
| 専門教育科目 | | 基礎物質化学 | 2 | | |
| | | 機器分析化学Ⅰ | 2 | / | |
| 合 計 | | | | 4 | 以上 |

※ イノベーション創成基礎セミナーⅠ、イノベーション創成基礎セミナーⅡの履修を推奨する。

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-------------|-----|----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | / | 2 以上 |
| | | 環境化学 | 2 | | |
| 専門教育科目 | | 物質化学実験Ⅰ | 2 | 2 | / |
| 合 計 | | | | 4 | 以上 |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|---------------|-----|----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 2 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| 専門教育科目 | | 理工学PBL実習A | 2 | | |
| | | 理工学PBL実習B | 2 | | |
| 合 計 | | | | 2 | 以上 |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件

- 次の要件をすべて満たすこと。
- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
 - 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から4単位以上、キャップストーン科目から4単位以上及び地域貢献インターンシップから2単位以上の合計10単位以上を修得すること。

別紙

地球科学科

教育プログラム（6単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|------------------|------------------|-----|------|---------|
| 教養 育成 科目 | 入門科目／学際分野 | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 以上 |
| | 発展科目／自然科学分野 | 汽水域の科学（入門編） | 2 | | |
| | | 汽水域の科学（応用編） | 2 | | |
| | | 山陰地域の自然災害 | 2 | | |
| | 発展科目／学際分野 | 島根学 | 2 | | |
| | | フィールドで学ぶ「斐伊川百科」 | 2 | | |
| | | ジオパーク学入門 | 2 | | |
| | | ジオパーク学各論 | 2 | | |
| | | 地域博物館へのいざない | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | |
| | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | | |
| 専門教育科目 | 地球科学フィールドセミナー | 2 | | | |
| 合 計 | | | | 2 以上 | |

※ イノベーション創成基礎セミナーⅠ、イノベーション創成基礎セミナーⅡの履修を推奨する。

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-------------|-----|------|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | / | 2 以上 |
| | 専門教育科目 | 地球科学野外実習Ⅰ | 2 | | |
| | | 地質学と社会 | 1 | | |
| 合 計 | | | | 2 以上 | |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|-----------|---------------|-----|------|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 1 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| | | 地域共創インターンシップC | 4 | | |
| 専門教育科目 | 就業体験 | 1 | | | |
| | 理工学PBL実習A | 2 | | | |
| | 理工学PBL実習B | 2 | | | |
| 合 計 | | | | 1 以上 | |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件

- 次の要件をすべて満たすこと。
- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
 - 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から2単位、キャップストーン科目から2単位及び地域貢献インターンシップから1単位を含む合計6単位以上を修得すること。

別紙

数理科学科

教育プログラム（8単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 | |
|----------------|------------|------------------|-----|-----|---------|---|
| 教養 育成 科目 | 入門科目／学際分野 | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 以上 | |
| | 発展科目／学際分野 | 島根学 | 2 | | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | | 2 |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | | |
| | 社会人力養成科目 | 島根の企業と経済 | 2 | | | |
| 専門教育科目 | 数理科学入門セミナー | 2 | | | | |
| 合 計 | | | | 4以上 | | |

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-------------|-----|----|----|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | 2 | / |
| 合 計 | | | | 2 | |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 2 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件

- 次の要件をすべて満たすこと。
- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
 - 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から6単位以上、キャップストーン科目から2単位及び地域貢献インターンシップから2単位以上の合計8単位以上を修得すること。

別紙

知能情報デザイン学科

教育プログラム（8単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|---------------|------------------|-----|-----|----|
| 教養 育成 科目 | 入門科目／学際分野 | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 |
| | 発展科目／学際分野 | 島根学 | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | |
| 専門教育科目 | コンピュータサイエンス基礎 | 2 | 2 | / | |
| 合 計 | | | | 4以上 | |

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-------------|-----|----|----|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | 2 | / |
| 合 計 | | | | 2 | |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 2 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件

- 次の要件をすべて満たすこと。
- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
 - 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から4単位以上、キャップストーン科目から2単位及び地域貢献インターンシップから2単位以上の合計8単位以上を修得すること。

別紙

機械・電気電子工学科

教育プログラム（8単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|-----------------|------------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 入門科目／学際分野 | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 以上 |
| | 発展科目／学際分野 | 島根学 | 2 | | |
| | | 中山間地域フィールド演習 | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | |
| | 社会人力養成科目 | 島根の企業と経済 | 2 | | |
| 専門教育科目 | 機械・電気電子工学基礎セミナー | 2 | | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | / | 2 以上 |
| 専門教育科目 | | 技術と社会 | 2 | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|---------------|-----|----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 2 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| | | 地域共創インターンシップC | 4 | | |
| 専門教育科目 | | 理工学PBL実習A | 2 | | |
| | | 理工学PBL実習B | 2 | | |
| 合 計 | | | | | |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件 次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から2単位、キャップストーン科目から2単位及び地域貢献インターンシップから2単位を含む合計8単位以上を修得すること。

別紙

建築デザイン学科

教育プログラム（10単位以上）

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
令和3年度以降に地域志向入試を経て入学した者

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。
なお、履修年次等は年度ごとに配付する「授業科目一覧」を参照すること。

ベースストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|------------|------------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 入門科目／学際分野 | プロジェクトデザイン | 2 | / | 2 以上 |
| | 発展科目／学際分野 | 島根学 | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅠ | 2 | | |
| | | イノベーション創成基礎セミナーⅡ | 2 | | |
| 専門教育科目 | 建築デザイン概論 | 2 | | | |
| | 建築デザインセミナー | 1 | | | |
| | しまね建築学 | 2 | | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

※ イノベーション創成基礎セミナーⅠ、イノベーション創成基礎セミナーⅡの履修を推奨する。

キャップストーン科目

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|-----------------|-----|-----|----|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域プロジェクト型実習 | 2 | / | |
| 専門教育科目 | | 建築生産 | 2 | | |
| | | 建築設計製図Ⅲ | 2 | | |
| | | 建築設計製図Ⅳ | 2 | | |
| | | 建築構造・環境フィールドワーク | 2 | | |
| 合 計 | | | | 6以上 | |

地域貢献インターンシップ

| 科目区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 必修 | 選択 |
|----------------|----------|---------------|-----|-----|---------|
| 教養 育成 科目 | 社会人力養成科目 | 地域共創インターンシップA | 2 | / | 2 以上 |
| | | 地域共創インターンシップB | 2 | | |
| 専門教育科目 | | 理工学PBL実習A | 2 | | |
| | | 理工学PBL実習B | 2 | | |
| 合 計 | | | | 2以上 | |

地域人材育成コースセミナー

地域人材育成コースの学生は、協働共学の機会として地域未来協創本部が開催する正課外のセミナー等に参加することができる。ただし、地域人材育成コースの入学セミナーについては、特段の事由がある場合を除き参加しなければならない。

修了要件

- 次の要件をすべて満たすこと。
- 一 所属する学科の卒業要件を満たすこと。
 - 二 上記履修表により履修し、ベースストーン科目から2単位以上、キャップストーン科目から6単位以上及び地域貢献インターンシップから2単位以上の合計10単位以上を修得すること。